

UVインクジェット印刷用シート

アクリエース®UVシリーズ

- UVインクジェットプリンタのダイレクト印刷に最適なMS樹脂*透明板です。
- インクが剥がれにくいいため、アクリルキーホルダーなどに最適です。

UVインクジェットダイレクト印刷に最適

インクの密着性が良い!

バッグンの発色性!



アクリルノベルティ
提供 (株)BRECE



サイン



加飾建材(採光パネル 木目柄印刷)
提供 阿部興業(株)

※MS樹脂: MMA・スチレン共重合樹脂 (MMA60%以上のアクリル系樹脂)

アクリエース®UVシリーズの特長

美しい外観

アクリル板と同等の優れた透明性と光沢を有し、美しい外観を持っています。

変形しにくい

吸湿性が小さいため寸法安定性に優れ、反りや変形をアクリル板に比べ大幅に低減できます。印刷時のヘッド擦れも防止できます。

軽い

ガラスの約半分のアクリル板よりも更に比重が小さいため、製品が軽く取り扱いが容易です。

加工が簡単

機械加工、熱加工、レーザーカット、接着を容易に行うことができます。(印刷後の熱加工可否はインク種類によります。インクメーカーにご確認ください)。

アクリエース®UVシリーズのメリット

アクリルに比べインク密着性に優れるため、UVインクジェットのダイレクト印刷が可能です。

「アクリエースUVシリーズ」+「ダイレクト印刷」対応することで

- ▶ 出力紙・フィルム貼合に比べ、品質に優れます。また貼合時の作業時間・不良低減ができます。
- ▶ UVインクジェットプリンタでのプライマー処理に比べ発色性に優れます。また大幅な印刷作業時間短縮となります。
- ▶ スクリーン印刷でのプライマー処理品に比べ 透明・光沢性に優れ、透明主体のデザインでも使用できます。

UVインクジェットとの接着試験

〈接着の確認 (爪) 爪の引っ掻き (テ) セロテープ剥離 (ク) クロスカットテープ剥離〉

試験基材	黄			ピンク			アサギ			黒			グレー			白		
	爪	テ	ク	爪	テ	ク	爪	テ	ク	爪	テ	ク	爪	テ	ク	爪	テ	ク
アクリエース®UV	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アクリル板	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○

※上記の接着試験は、保証値ではありません。プリンタの条件によって変わることがあります。

◎=接着最適 ○=接着良好 ×=完全剥離

豊富な実績!

- 主要なUVインクジェット印刷機メーカーでの実績があります。

レーザーカットに
対応!

- レーザーカット時のバリ防止のため紙マスキング品を新しくラインナップしました。
- ポリマス面を剥離し印刷、紙マスを残したままレーザーカットすることでバリ、煙付着を予防できます。

レーザー加工性に
ついて

- アクリエース®UVはアクリル板とレーザー加工条件が少し異なります。アクリル板と同等から、出力アップまたは速度ダウン方向での調整を推奨します。技術資料については別途お問い合わせください。
- カット時のバリ抑制をご希望の場合、紙マスキング品からご検討ください。
- アクリエース®UVに比べ、アクリルに近い条件でカット可能なアクリエース®UVplusを新たに開発しました。レーザーカット条件でお困りの際はお問い合わせください。

製品名	色調	厚 [mm]	幅 [mm]	長 [mm]	マスキング仕様	最大入数[枚/ケース]
アクリエース UV	透明	1.5	1054	2210	両面ポリ	7
		2.0	915	1830	両面ポリ	7
		3.0	915	1830	両面ポリ	5
		3.0	915	1830	片面ポリ / 片面紙	5
		3.0	1000	1580	片面ポリ / 片面紙	5
		4.0	915	1220	両面ポリ	5
		5.0	915	1830	両面ポリ	3
		5.0	1100	1300	両面ポリ	3
		8.0	860	1540	両面ポリ	2
アクリエース UVplus	透明	3.0	915	1830	片面ポリ / 片面紙	5

■ は標準在庫品ではないため、発注時に在庫をご確認ください。

● 最低出荷数量: 1枚から

取扱い上の注意

アクリエース®UV、UVplusの取扱いにあたっては、「安全データシート」(SDS)を用意してありますので、ご使用前には必ずお読みください。

下記に取扱い上の安全注意事項の要点を簡単にまとめましたので、ご活用ください。

●安全、衛生上の注意点

- (1) 切断面は鋭利なため、切り傷等を負うことがあります。
- (2) 切断・切削加工時の細かい切粉が眼に入ったり、吸い込むことがあります。
- (3) 静電気を帯電しますので、板を摩擦した時や保護フィルムを剥がす時に電撃ショックを受けることがあります。

●燃焼に関する注意点

- (1) 可燃性の熱可塑性樹脂です。取扱いや保管は熱・発火源から離れた場所で行なってください。
燃焼した場合に不完全燃焼により、一酸化炭素等の有毒ガスが発生する恐れがあります。
- (2) 消火には、水・泡消火剤・粉末消火剤が使用できます。

●廃棄上の注意点

廃棄は埋め立てまたは焼却により処理できます。「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に従ってください。

株式会社 JSP 産業資材事業部 産業資材部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル
TEL.03-6212-6343 FAX.03-6212-6336
<https://www.co-jsp.co.jp>

問い合わせ先